

令和7年度 学校経営報告

八王子市立横山中学校
校長 竹田 幸恵

1 学校教育目標 『自律 協同 勤勉』

- ・進んで学習し、よく考える人になろう (知育)
- ・礼儀正しく、思いやりのある人になろう (徳育)
- ・心身を鍛え、ねばり強い人になろう (体育)

→ **【今年度の重点目標】** いのちと健康の大切さに気づき、考え、行動する生徒を育てる。

人間の多様性を尊重し、生徒一人ひとりが自分らしく生きるための教育活動の改善と充実努める。

- ・広い視野をもち、社会に役立つ人になろう (社会貢献)

生徒アンケートでは、79.8%が「自律 協同 勤勉」を知っていると答えているが、評価項目の中では唯一80%に届いていない。たよりで行事の後に記載をし工夫をしたが、教室掲示などで意識を高めたい。

2 目指す学校像 『花信風 愛溢れる学校』

2年後の創立80周年を見据えて、花信風 (かしんふう) とは、春や初夏の風が、木々の幹、葉、そして根にエネルギーを伝え、美しい花を咲かせるという言葉である。生徒たちもこの学び舎で風を吹かせてほしい。困っている友達に優しいさりげない風を、授業の中で積極的に質問し学ぶさわやかな風を、そして何事にもチャレンジする強い風を吹かせてほしい。生徒一人ひとり素敵な花を咲かせることを祈願する。

《生徒・保護者・地域の信託に応える～愛溢れる学校～》

キーワード『ウェルビーイングの向上』

- **【楽しい横山中学校】** 生徒にとって学校に行くことが楽しくなる学校
 - **【信頼される横山中学校】** 保護者にとって子どもを通わせて本当によかったと思える学校
 - **【生涯学習を担う横山中学校】** 郷土を愛し、伝統文化を継承し、地域にとって誇りとなる学校
 - **【個性や創造力を伸ばす横山中学校】** 教職員にとって子どもたちの成長に誇りと働きがいを感じられる学校
- 80周年記念式典は令和9年10月12日にJ:com ホールにて開催する。生徒アンケートでは、「自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動するように、先生たちは指導していますか」の項目において96.3%の生徒が肯定的回答を示しており、目指す学校像「花信風 愛溢れる学校」に前進している。

基本方針

「八王子市教育委員会の主要施策」を踏まえ、本校教育目標の実現と、生徒・教師ともに学び合う学校づくりを目指す。『ウェルビーイングの向上』をキーワードに全教職員の力を結集し、子どもたちが自律し生き生きと輝ける愛溢れる学校経営に努める。

2 と同様

4 学校運営の重点

〈安全で安心な学校づくり〉

- (1) いじめを受けた等の訴えや不登校生徒へは、親切・丁寧・迅速に対応する。
- (2) 生徒指導は学校組織全体で丁寧に取り組む。
- (3) 特別な支援を要する生徒に関する情報を全教職員で共有し、可能な限りの合理的配慮を行う。
- (4) 防災教育推進体制を整え、かけがえのない自他の生命の尊重、健康・安全に対する意識や態度を養う。
- (5) 教育活動全体をとおして正しい言葉・言葉遣いを意識し、人権に配慮した言語活動の充実を図る。

生徒アンケートでは、90.9%、保護者アンケートでは99.1%の肯定的回答を得た。引き続き取り組みを継続する。

〈小中一貫教育〉

- (1) 「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を活用し、小中で連携した学習や生活の振り返りを行う。

(2) 9年間で育てたい児童・生徒像を、「自分の命、他人の命、地域の学び舎を大切にする児童・生徒」～あいさつがこだまする愛溢れる横山中校区～とし、防災教育を主軸として、小中一貫教育のさらなる充実を図る。

生徒アンケートでは、87.1% 保護者アンケートでは88.8%の肯定的回答を得た。来年度は、防災教育を小中合わせて教育課程に位置付け、社会に出て貢献できる生徒の育成をめざす。

〈学習指導〉

(1) 確かな学力の定着と向上を図り、基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力を育成する。
(2) 個を尊重し、全学年習熟度別少人数指導(数学)、少人数指導(英語)、個別指導、放課後学習の時間を充実させる。

(3) 授業目標を見える化し、「主体的・対話的で深い学び」と振り返りを取り入れた授業展開を工夫する。
(4) 生徒が前のめりになる授業を展開し、生徒の主体性を育む授業実践と学びに向かう力を育む評価設定へ尽力するための研修を1年通して行う。

生徒アンケートでは、81.8%、保護者アンケートでは95.3%の肯定的回答を得た。評価の適切・公平に関しての保護者アンケートでは、肯定的回答が71.2%に留まった。校内研修で評価の在り方(不登校生徒も含む)に取り組んだが、その成果が結びつくようにこれからも組織的に評価の在り方を含めて研修をすすめていく。

〈道徳教育〉

(1) ペップトーク実践モデル校の実践を通して、生徒一人ひとりに、地域社会の一員として優しい言葉で心穏やかな生活をしていく力を身に付けさせる。

(2) 青少年赤十字加盟校の利点を生かし、道徳授業地区公開講座等を充実させ、保護者・地域とともに生徒の規範意識の向上に努める。

保護者アンケートでは、道徳教育について81.8%の肯定的回答を得た。ペップトーク実践モデル校としての2年間優しい言葉で心穏やかに生活することを授業を通じて実践できた。青少年赤十字加盟校として防災フェスタでは、地域の赤十字奉仕団が生徒ボランティアとともに活躍した。来年度は、担当主幹を中心に取り組みを発展させていく。

〈総合的な学習の時間〉

(1) 全教員で指導にあたり、地域等の教育力を生かしながら、指導方法の工夫・改善及び内容の充実に努める。
(2) 「横山中学校2020レガシー」の取り組みとして、日本の伝統文化の良さを継承、発展させながら、郷土愛や異文化理解を推進する。

1学年の地域を知る学習の取組では、午前中に地域24か所を生徒が訪れ、大学で学食の屋敷をとり、大学の特別授業を受け、大学施設見学をする試みが成功した。来年度も継続して実施できるようにする。」

〈特別活動〉

(1) 「誇れる上級生、学ぶ下級生」を生徒会活動の目標とし、自主・自立の精神を育てる。
(2) 学校行事は、学校にかかわるすべての大人の協力を得て、生徒のための学校行事を創造する。
生徒会活動の目標は、全校生徒に浸透している。令和8年度学校行事も防災フェスタ以外を平日開催とするが、地域の協力を得て進めていく。

〈生活指導〉

(1) 「あいさつをする」「人の話を聞く」「時間を守る」「責任をもつ」「言葉遣いを意識する」を基本におく。
(2) 善悪の判断力、社会的な規律・規範意識を育て、いじめや非行、暴力行為等を絶対に許さない学校文化を創る。

(3) 防災感覚を意識し、生徒がいのちと健康の大切さに気づき、考え、行動する安全指導を行う。
生徒アンケート96.3%。保護者アンケート88.6%の肯定的評価を得ている。令和8年度キャリア教育を防災教育に結び付け、さらなる生活指導の充実が、社会貢献につながるよう計画する。

〈進路指導〉

(1) 生き方指導、キャリア教育としての進路指導を実践する。

(2) 勤労の尊さを理解させるとともに、自己実現を目指す生徒を育む。

(3) 生徒が自己をみつめ、グループや集団でのかかわりの中で物事をファシリテートする力を養う。

生徒アンケート 95.6%、保護者アンケート 92.4%の肯定的評価を得ている。1年生の防災教育において防災フェスタでのペアワーク、2年生の屋台村形式での発表は今後に繋げていきたい内容である。

〈特別支援教育〉

(1) 特別支援コーディネーターを中心に、組織的支援体制を一層充実させる。不登校巡回教員

(2) 特別支援教室に関する学校からの情報発信の創意工夫を図り、支援体制を保護者、地域へ継続的に伝える。

保護者アンケートでは、65.9%の肯定的意見、27.3%の保護者が回答できないとの答えであった。生徒へは、学年集会や体験授業を行うことで全生徒に経験をして意識を高めたが、保護者への周知を工夫する必要がある。